



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2020年3月期 決算説明会

2020年5月26日

バンドー化学株式会社

I. 2020年3月期 決算概要

II. 2021年3月期 業績予想

III. 中長期経営計画の取り組み
“Breakthroughs for the future”2ndステージ

IV. 参考資料

I . 2020年3月期 決算概要

2020年3月期 決算ハイライト

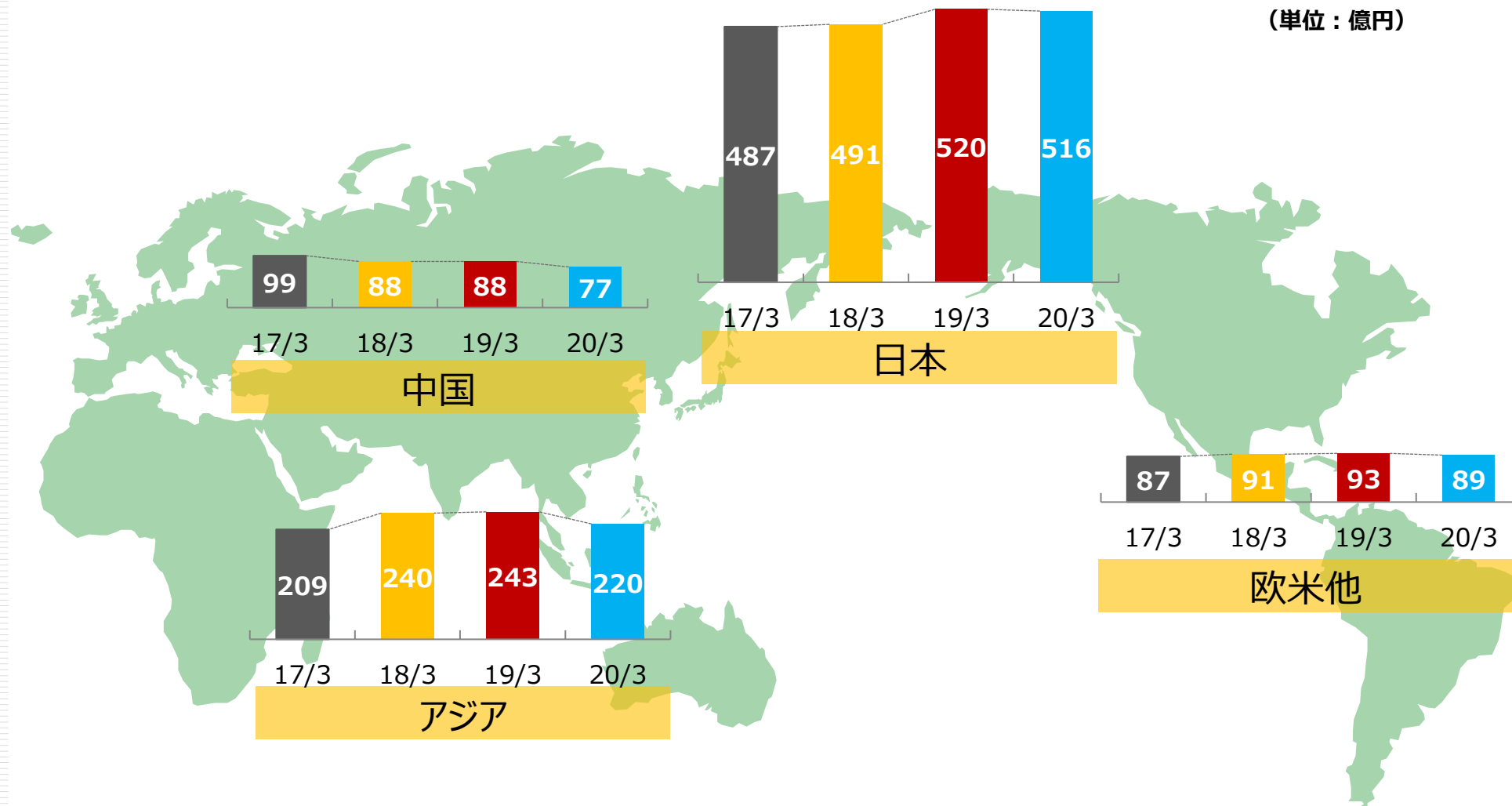
(百万円)

	2019/3	2020/3		2020/3業績予想	
	実績	実績	前期比	2019.8.9 公表	2020.4.24 修正
売上収益	94,318	90,247	△4,070	93,000	90,000
コア営業利益	6,503	5,252	△1,250	6,000	5,000
営業利益	6,815	2,056	△4,758	6,000	2,000
税引前当期利益	7,166	2,095	△5,071		
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,457	682	△4,774	4,500	500

- 売上収益は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速などの影響を受け、海外を中心に減収となった。
- コア営業利益は、株式会社Aimedic MMTの新規連結による増益要因があったものの、既存事業において、減収およびセールスマックスの変動による売上原価率の悪化により、減益となった。
- 営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、コア営業利益の悪化に加え、株式会社Aimedic MMTの取得時に発生したのれんの一部に係る減損損失（△3,274百万円）およびリスク分担型企業年金への移行損（△447百万円）などの一時的な損失の計上により、減益となった。
 - IFRSでは、のれんに対して、企業の将来キャッシュ・フローに基づき、資産の回収可能価額を算出し、回収可能価額が資産の帳簿価額を下回った場合に減損処理する減損テストを每期実施する。株式会社Aimedic MMTの主力製品の償還価格が2020年4月以降の今後2年間で大きく下落することが確実となったこと、および新製品開発の進捗などを保守的に見直したことで将来キャッシュ・フローを再算定した結果、上記の減損損失を計上するに至った。

2020年3月期 所在地別売上収益

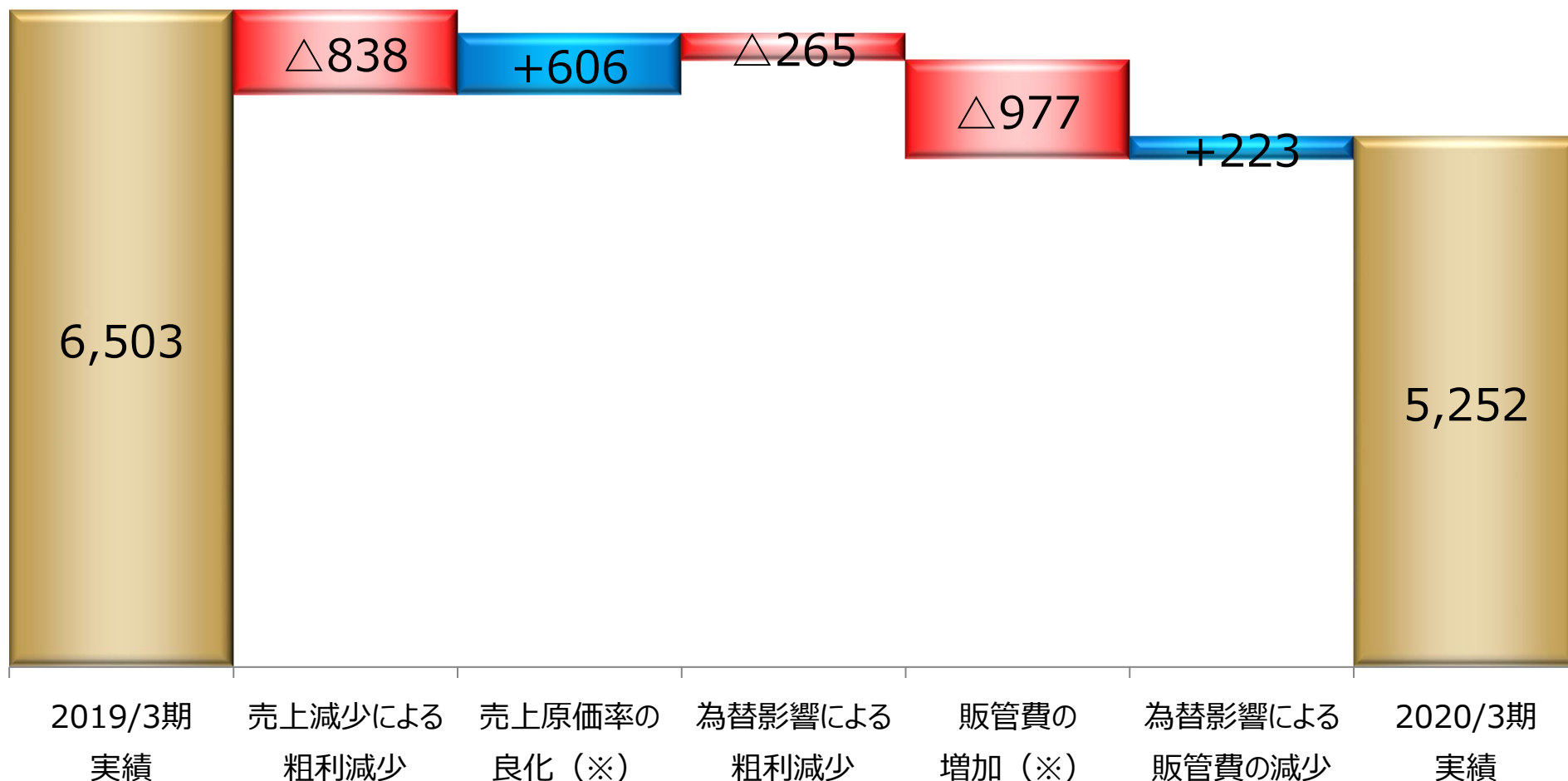
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

2020年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



※ 株式会社Aimedica MMTを除く既存事業においては、売上原価率は悪化（利益減）し、販管費は減少（利益増）しております。

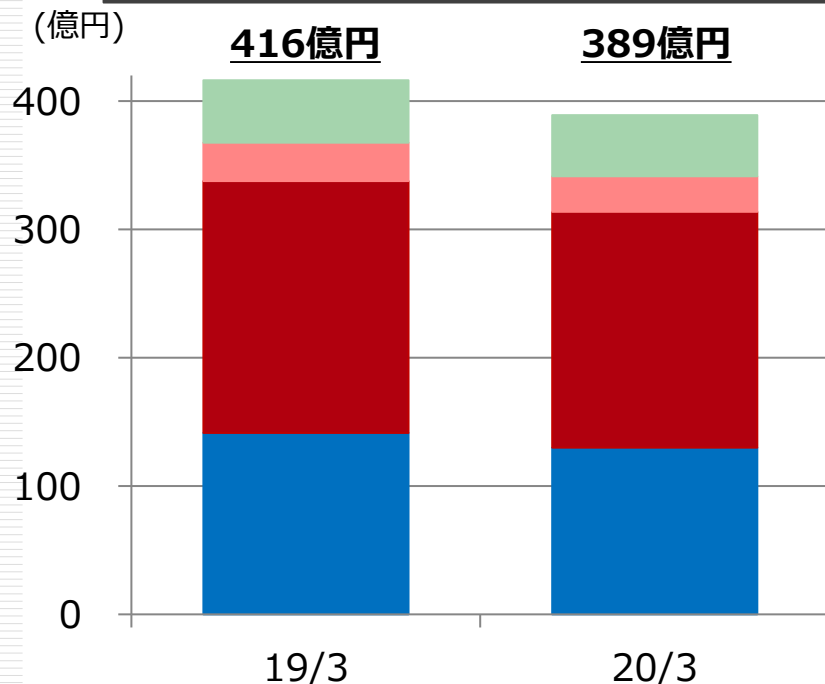
2020年3月期 セグメントの状況

(百万円)

	2019/3 実績	2020/3		
		実績	増減額	増減割合
売 上 収 益	94,318	90,247	△4,070	△4.3%
自動車部品事業	41,650	38,953	△2,697	△6.5%
産業資材事業	35,424	32,765	△2,659	△7.5%
高機能エラストマー製品事業	14,627	13,685	△941	△6.4%
そ の 他	3,880	5,575	+1,694	+43.7%
セグメント間消去	△1,264	△731	+532	—
コ ア 営 業 利 益	6,503	5,252	△1,250	△19.2%
自動車部品事業	3,182	2,129	△1,052	△33.1%
産業資材事業	2,141	2,195	+53	+2.5%
高機能エラストマー製品事業	617	333	△283	△45.9%
そ の 他	530	595	+64	+12.2%
セグメント間消去等	31	△1	△33	—

自動車部品事業 概要

所在地別売上収益



欧米他
(△2.1%)

- 米国において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補修品の販売は増加したものの、米国における自動車生産台数の減少により販売が減少。

中国
(△6.8%)

- 積極的な顧客開拓に注力したことにより、補修品の販売が増加したものの、主要顧客の生産台数の減少により販売が減少。

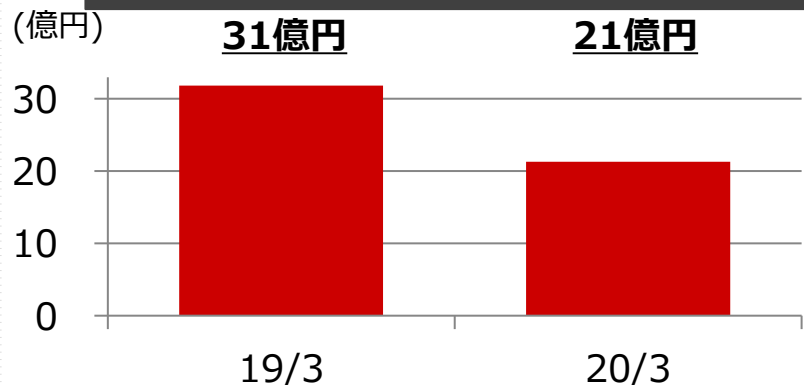
アジア
(△6.4%)

- タイにおいて補機駆動用伝動ベルトおよび伝動システム製品の販売が減少。
- インドにおいてスクーター用変速ベルトの販売が減少。

日本
(△8.2%)

- 自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルトおよび伝動システム製品の販売が減少。

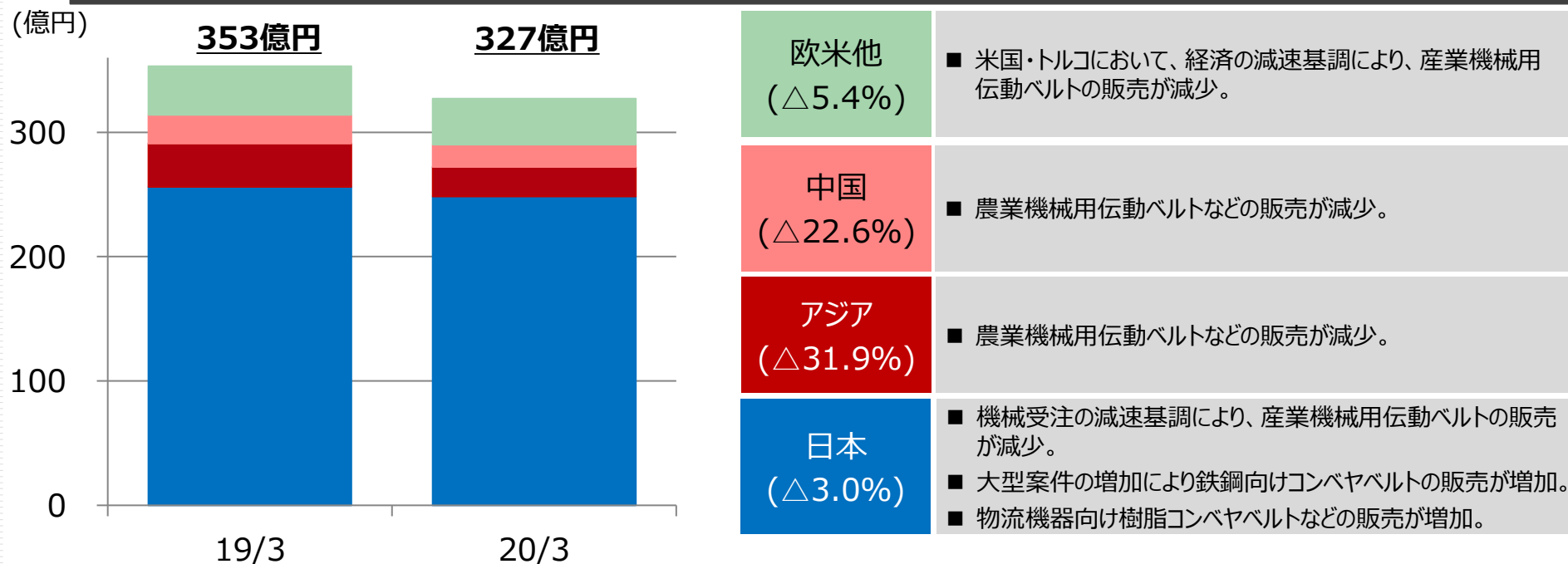
コア営業利益



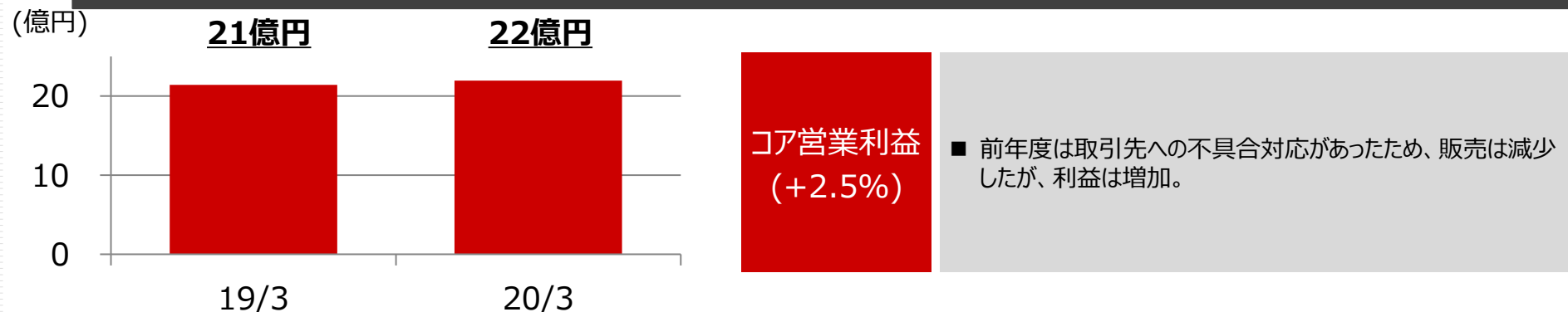
コア営業利益
(△33.1%)

- 販売の減少により、利益が減少。

所在地別売上収益

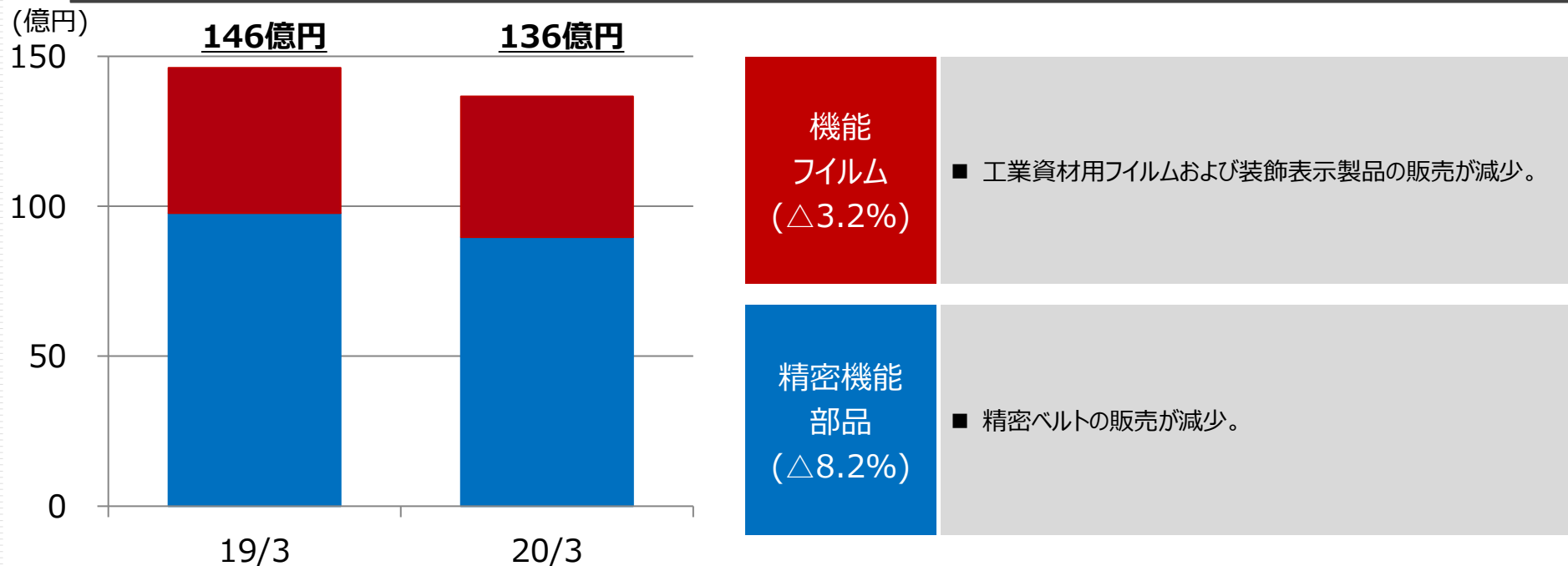


コア営業利益

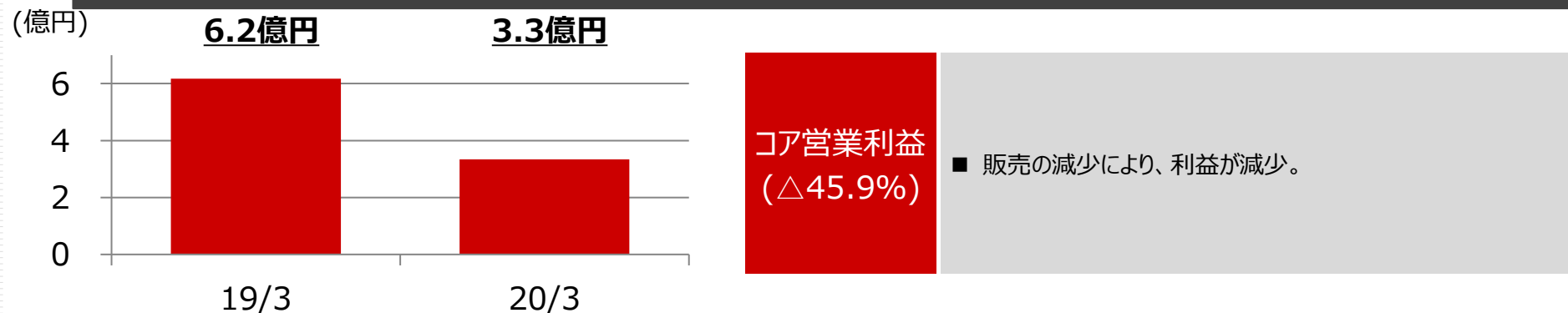


高機能エラストマー製品事業 概要

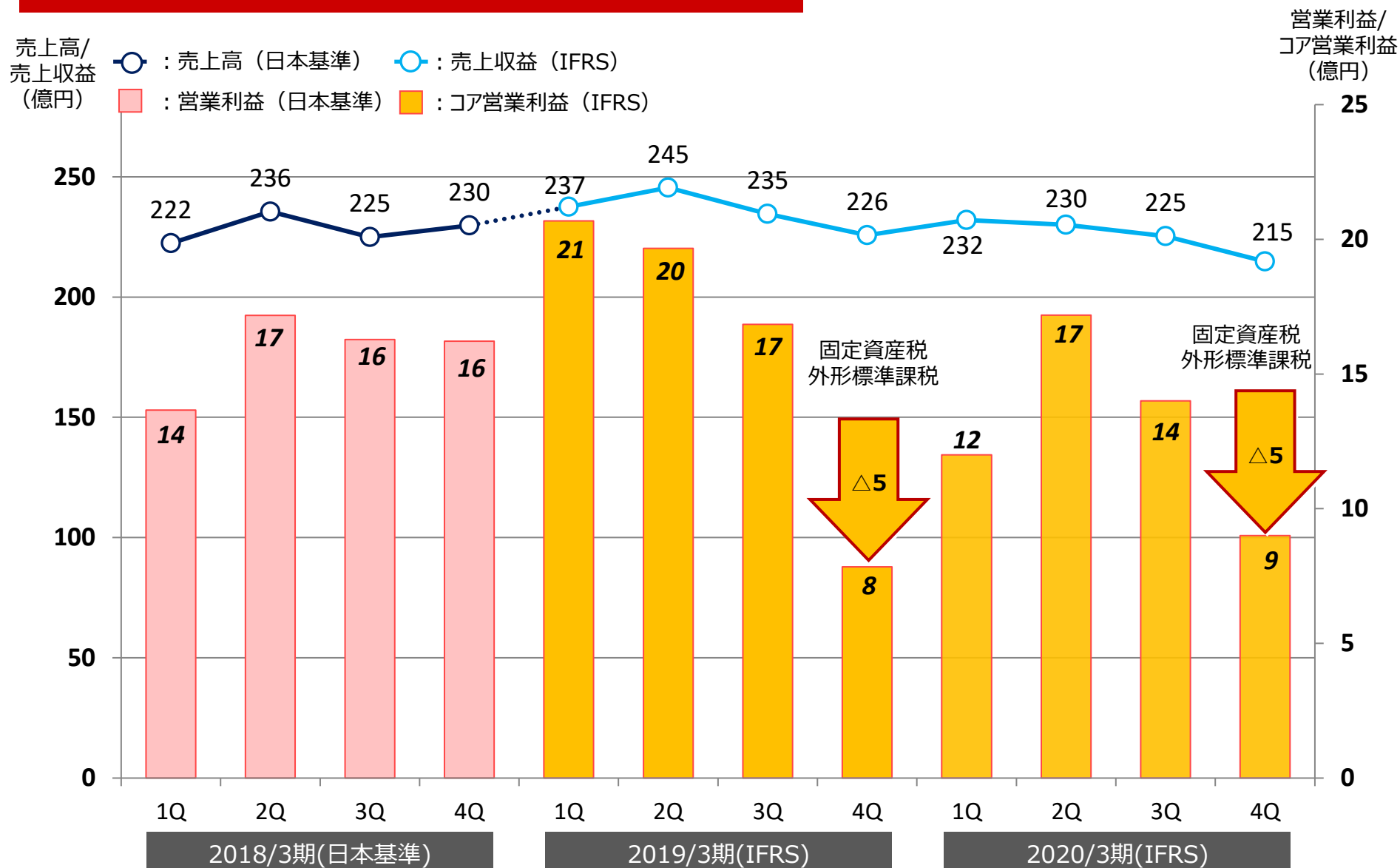
事業別売上収益



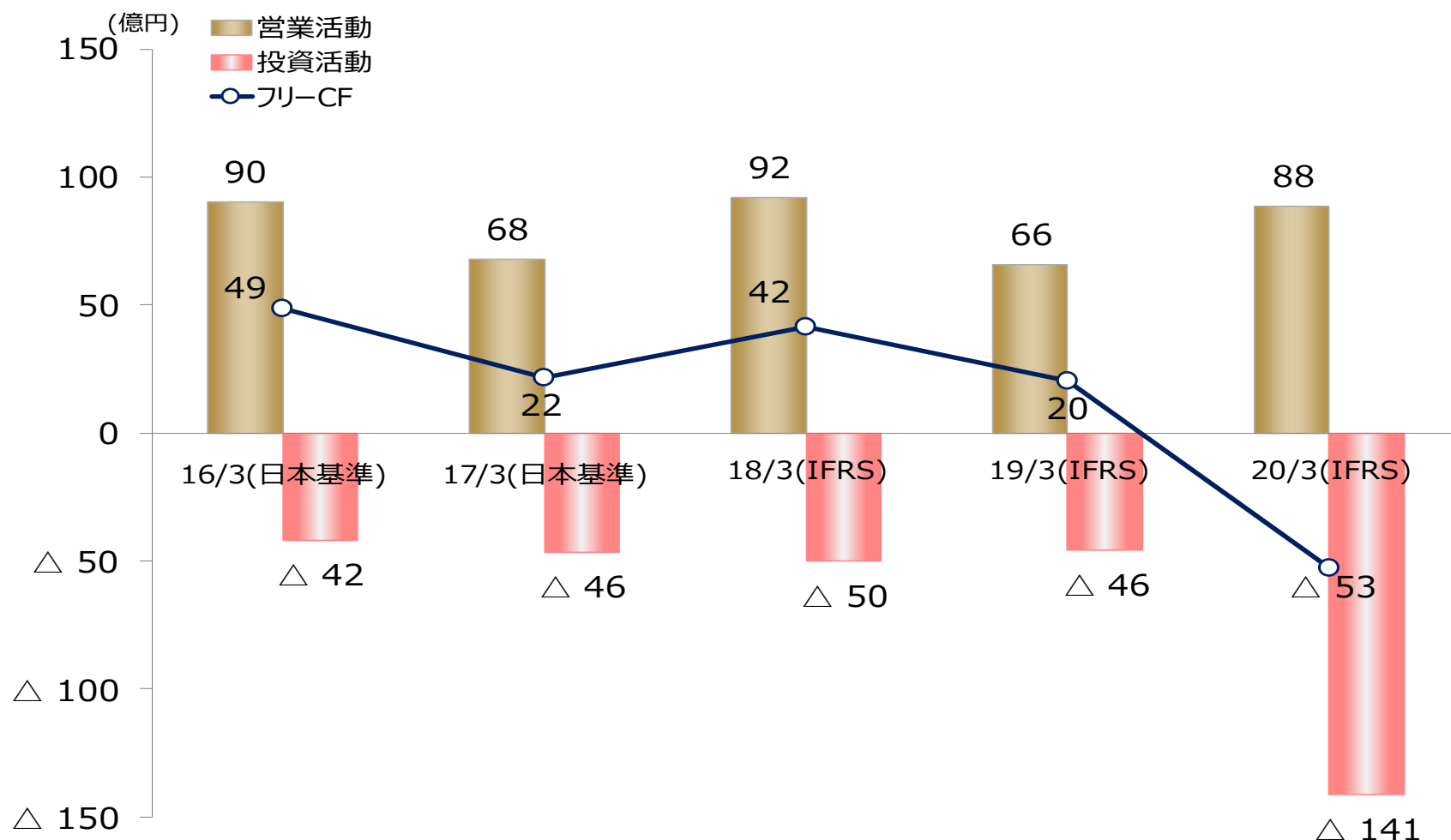
コア営業利益



四半期推移（売上収益/コア営業利益）

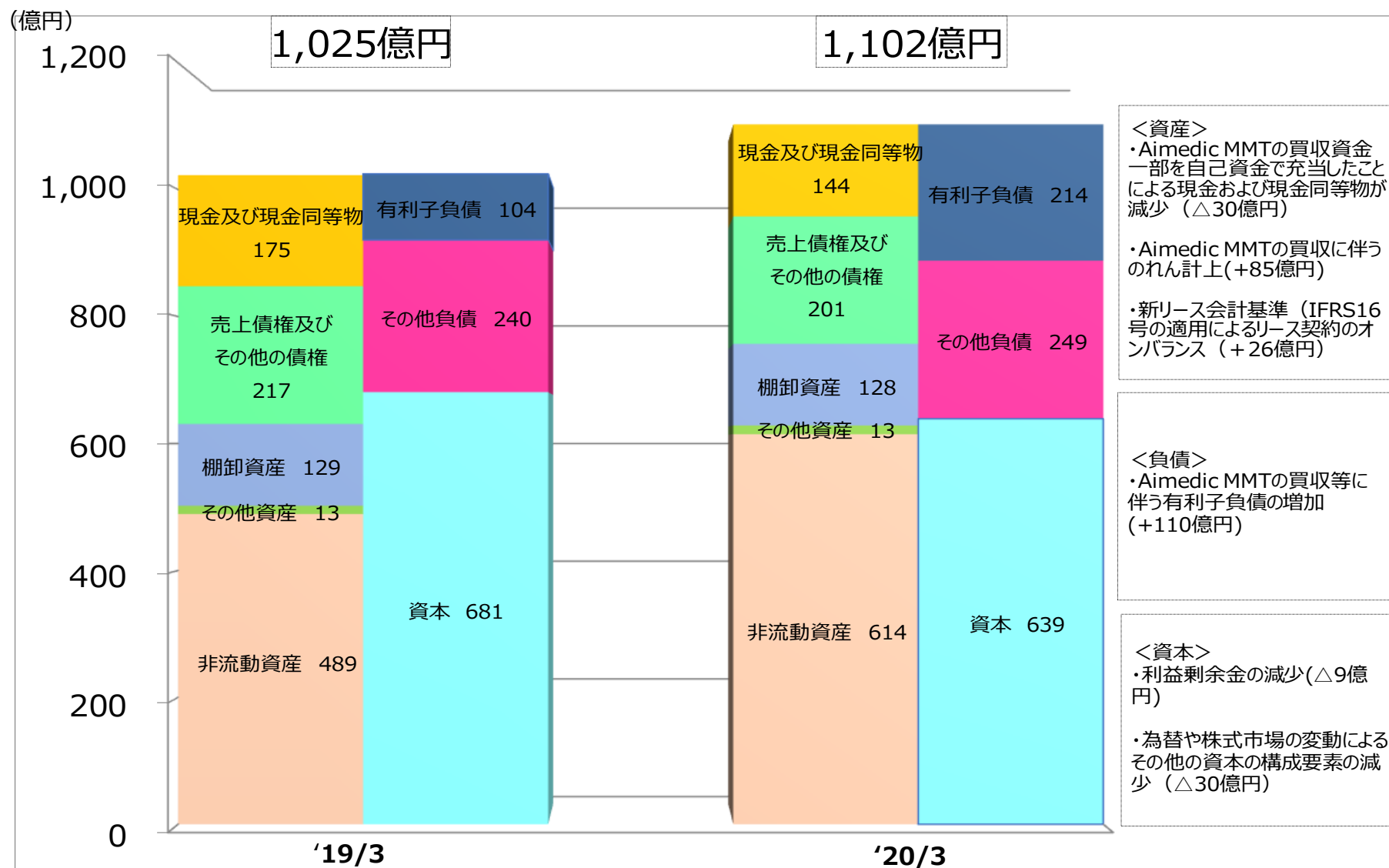


キャッシュ・フロー（CF）の推移

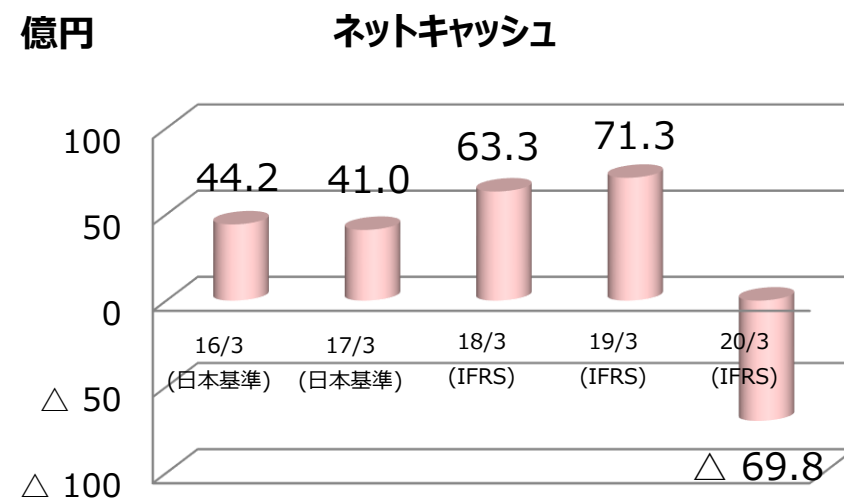
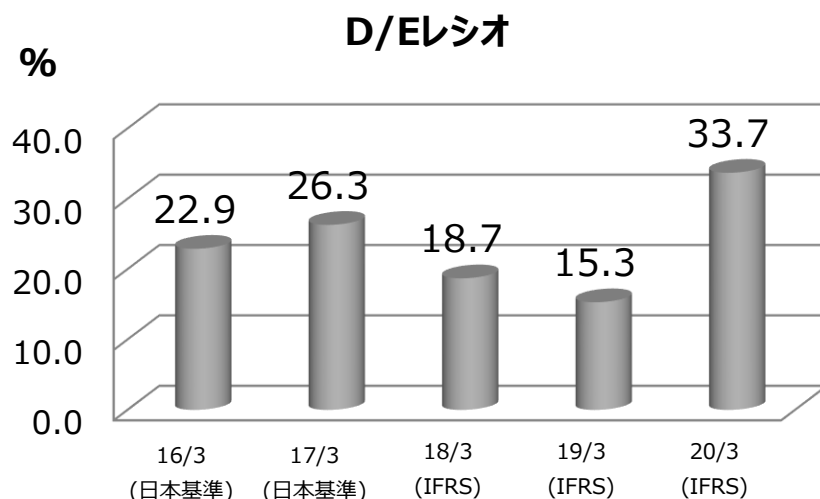
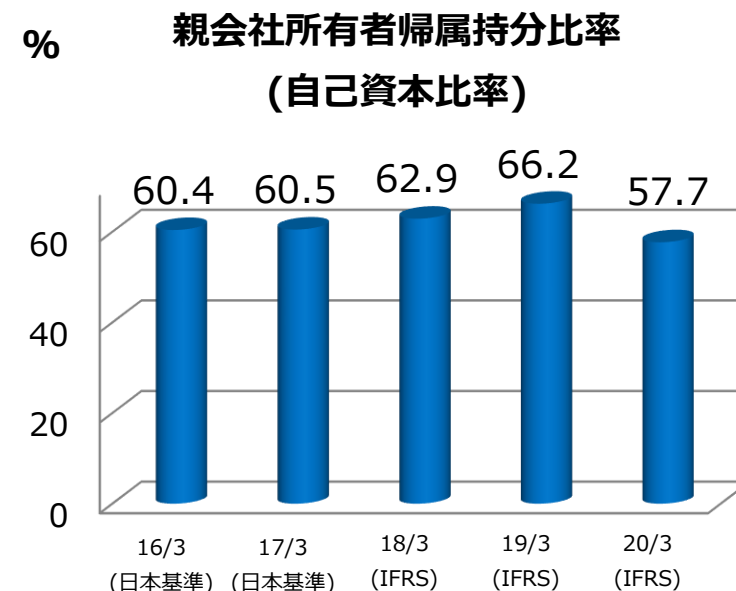
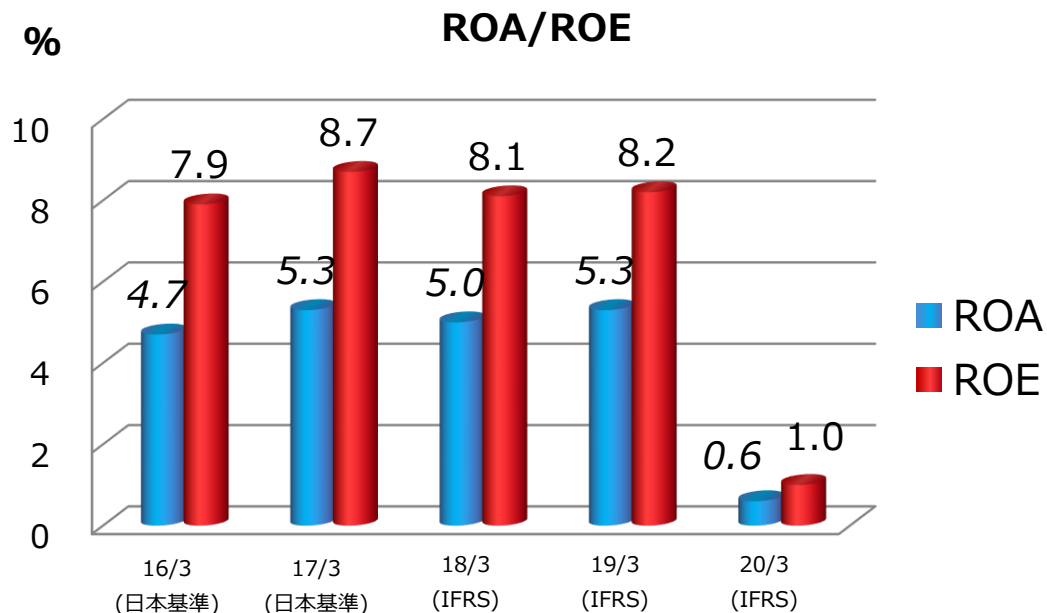


- ※ 1 17/3期の営業活動によるCFは、売上債権の流動化を停止した影響により、23億円減少しております。
- ※ 2 19/3期の営業活動によるCFは、下請法運用基準見直し対応による現金支払の増加により、14億円減少しております。
- ※ 3 20/3期の投資活動によるCFには、株式会社Aimedic MMTの取得による支出（92億円）が含まれております。

連結財政状態計算書



財務指標



主なトピックス

2019年

5月・医療機器メーカー株式会社Aimedic MMTの
全株式を取得し、子会社化

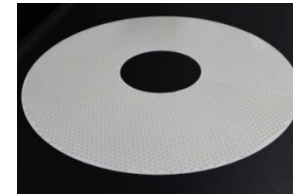


整形外科向けインプラント等の医療機器を提供する
「株式会社Aimedic MMT」

7月・「NANO KOREA 2019」に出展
・「第2回 5 G/IoT通信展」に出展

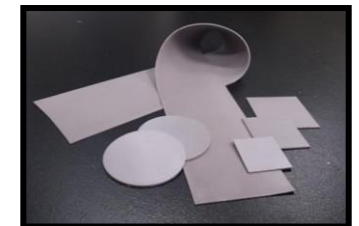


10月・子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得
・足利工場「無災害記録370万時間」を達成



5G/IoT通信展
研磨パッド「TOPX®」などを出品

11月・「C-Touch & Display Shenzhen 2019」に出展（中国・深圳）
・「IDTechEx Show! 2019」に出展（米国・カリフォルニア）



NANO KOREA2019
IDTechEx Show! 2019
熱マネジメント関連製品を出品

12月・「第10回 高機能フィルム展」に出展（幕張メッセ）
・令和元年度「スポーツエールカンパニー」に認定



C-Touch & Display Shenzhen
曲面对応OCA「Free Crystal®」などを出品

2020年

1月・グループSDGs目標を設定



3月・食品用非付着性ベルト「ミスターNスティック™」販売開始
・超非付着性コンベヤベルト「イージーリリース® NEO」を開発

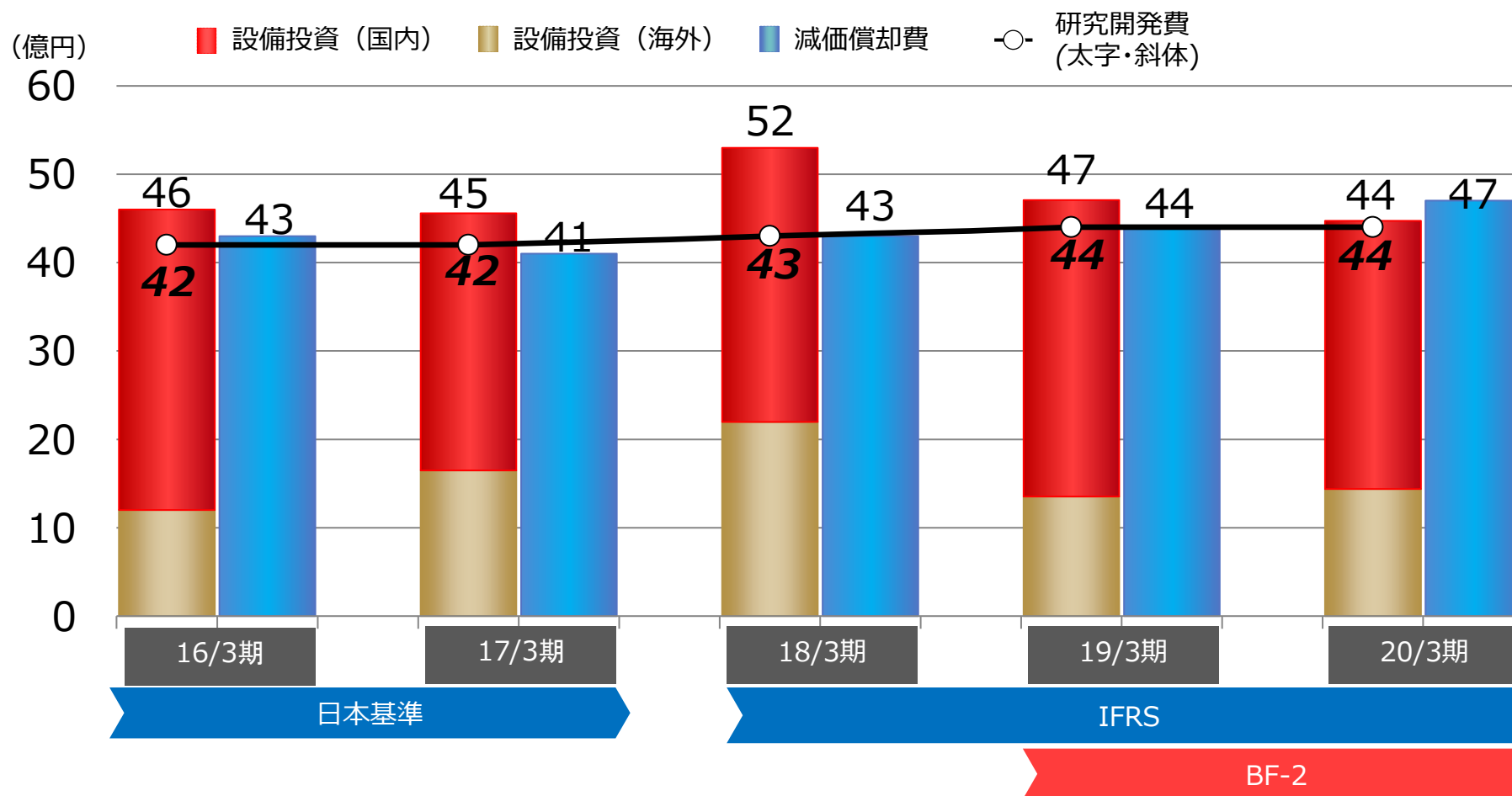


超非付着性コンベヤベルト「イージーリリース® NEO」

Ⅱ． 2021年3月期 業績予想

- 2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が国内外経済に大きく影響を与えており、現段階において合理的に算定・予想することが困難であると判断したことから記載しておりません。
今後、状況が収束し、発表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移



※ 1 上記数値には、2019年4月から適用したIFRS16号による影響を含んでおりません。

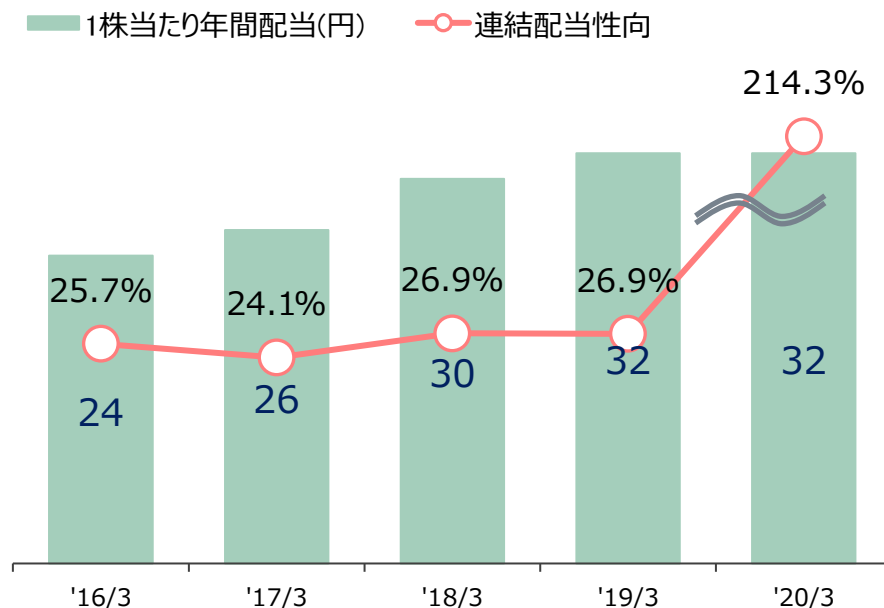
なお、当影響により、20/3期において、設備投資（有形固定資・無形資産の増加額）が約12億円、減価償却費が約13億円、それぞれ増加しております。

※ 2 21/3期の数値は、現時点では未定です。

基本方針

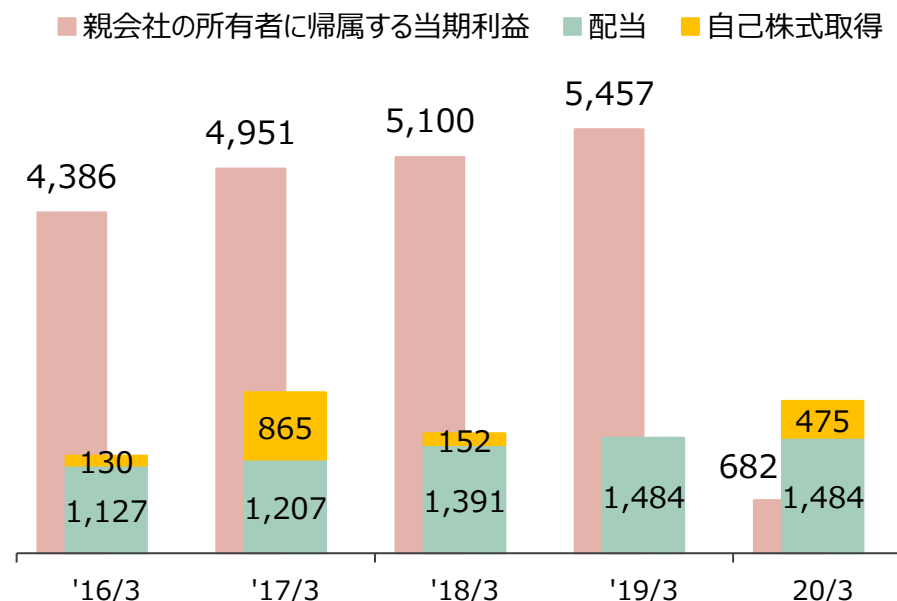
収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移

(単位：百万円)



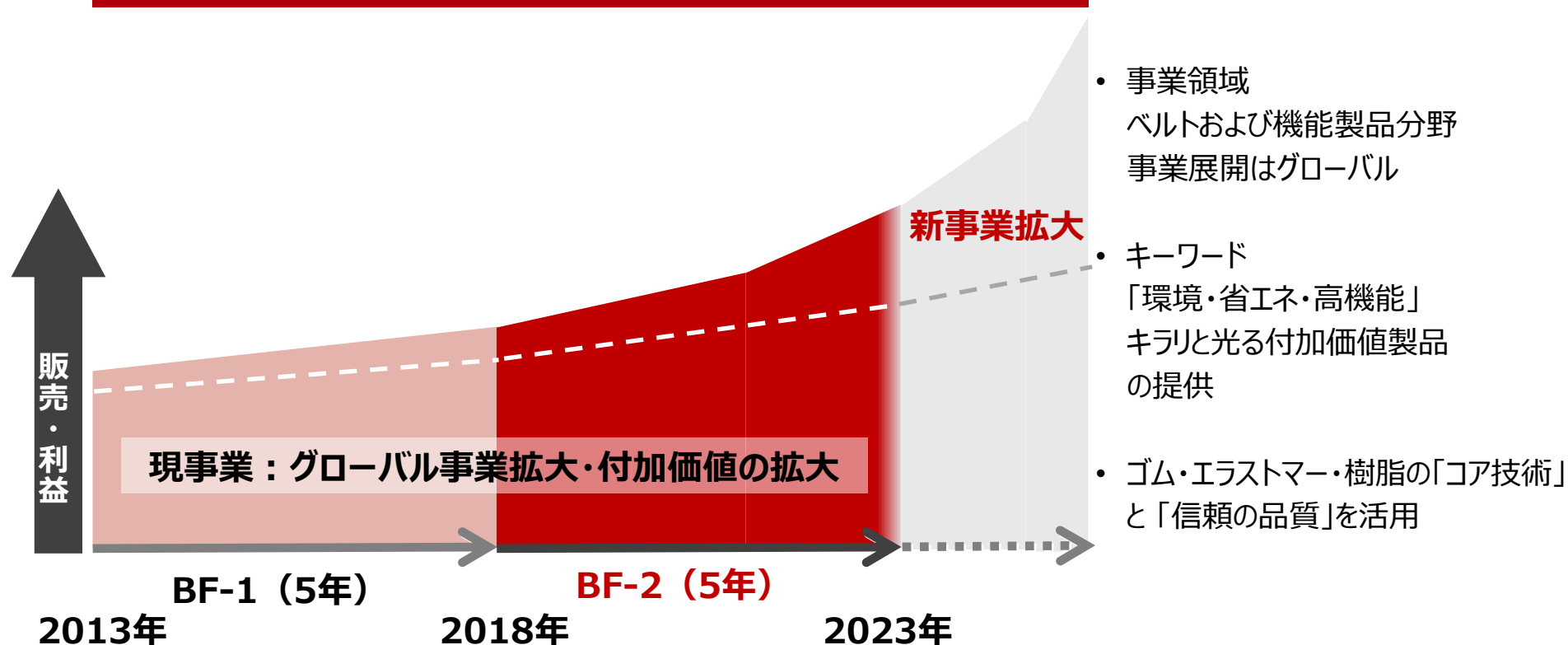
- ※ 1 2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しており、1株当たりの年間配当はこの影響を補正した数値を記載しています。
- ※ 2 上記の2018年3月期以降の値は、IFRSに基づきます。なお、2019年3月期以前は、日本基準の利益に基づき配当金額を決定しております。
- ※ 3 2020年3月期の配当金額は、減損損失が一時的会計事象であることから、安定した利益配当の継続を重視し、1株当たり期末配当16円（年間32円）を予定しております。
- ※ 4 2021年3月期の配当予想額は、現時点では未定です。

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Breakthroughs for the future”2ndステージ

中長期経営計画“Breakthroughs for the future” 『未来への躍進』

グローバルで『際立つ』サプライヤー



目指す姿：グローバルで『際立つ』サプライヤー

新事業と現事業の**両輪で持続的**に成長

指針 1

新事業の 創出

新事業の創出活動に優先的に
経営資源を配分し、
事業ポートフォリオの転換を図る。

指針 2

コア事業の 拡大

高付加価値製品の提供と
お客様の利便性向上により、狙いとする
重点市場で市場地位トップを獲得する。

指針 3

ものづくりの深化 と進化

コア事業をグローバルに成長させ、かつ、
収益力を向上させるための
ものづくりの技術と体制を進化させる。

指針4 個人と組織の働き方改革

働く環境と制度の整備、人材の育成と意識改革を通じて、自律的で創造的な働き方を推進する。

指針 1 : 新事業の創出① 電子資材事業

新たな顧客、新たな用途における事業化の進展

【1】 高熱伝導放熱シート「HEATEX®」

①自動車用途

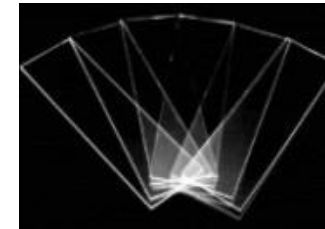
- 次世代パワーエレクトロニクスの中核部品としての有望資材として長期目線でアプローチ

②非自動車用途

- 家電メーカーへのアプローチを経て、**2020年度中に量産開始の見通し**

【2】 光学用透明粘着剤「FreeCrystal®」

- 自動車用途の評価ステージが進展



【3】 精密研磨材「TOPX®」

①ストレージ

- 対面業界は設備増強基調、積極的なアプローチを強化

②難削材対応等

- 半導体製造、光学部品等の分野でのアプローチを展開中

③ディスプレイ（ガラス基板）

- 採用モデル拡張、採用プロセス拡大に向けた活動を継続



指針1：新事業の創出② 医療機器事業

Aimedic既存品で価格下落（保険償還価格）の影響はあるが、 「医療機器事業推進部」を始動、医療機器事業の事業化を加速

③：C-STRECH®医療機器

②：Aimedic新製品

①：Aimedic主力製品

□ Aimedicの事業基盤を活用した上市時期の早期化
⇒2020年度に複数の新製品上市
（呼吸器内科、整形外科領域）

□ バンドー化学が有する基盤技術の活用による開発の加速
⇒バンドー化学の表面処理技術を活用する整形外科向け
インプラントの開発が進行中

□ 経営・業務統合による効率化等
⇒2019年度新製品の通期寄与

【2019年M&A時点】

（注）テキストボックスの大きさは、売上に
比例するものではありません。

特定市場・成長市場における需要獲得の進展

ラック式EPSベルト

：ベルト駆動システムによる非エンジン回りの価値開発



- 対象車種
・高級セダン
・大型・SUV車

- ベルト方式EPSの特徴
・低フリクション、高トルク
・静粛性、優れた応答性

- 初期製造ラインの稼働率上昇
- 第2ラインの稼働開始

EPS：電動パワーステアリングシステム

畑作大型農機用ベルト

：米作より市場規模の大きい畑作農機向け製品拡充



- 製造ライン（1期）の準備が完了、海外成長市場の現地主要メーカーに向け供給開始
- 大型農機の補修市場への拡販

軽搬送ベルト「ミスターシリーズ」

：搬送機能を越える顧客ニーズに応える製品群の拡充



2019年：ミスタースパイク®

- 高グリップ力・高耐久性を併せ持つ軽搬送ベルト

2020年：ミスターNスティック™

- 高粘着力の搬送物（特に米飯）に対する作業効率向上に寄与



ベルト表面にしゃもじ紋（凸型）形状を採用

光学エラストマー機能シート

：文教用途の電子ペーパータブレットを意識した事業展開



□ 特徴

- ・優れた自己修復性
- ・耐擦過性

- 日系メーカーに加え、中国系メーカーに向けて量産中

監視カメラ向け精密ベルト

：成長市場のリーディングカンパニー向けの事業展開



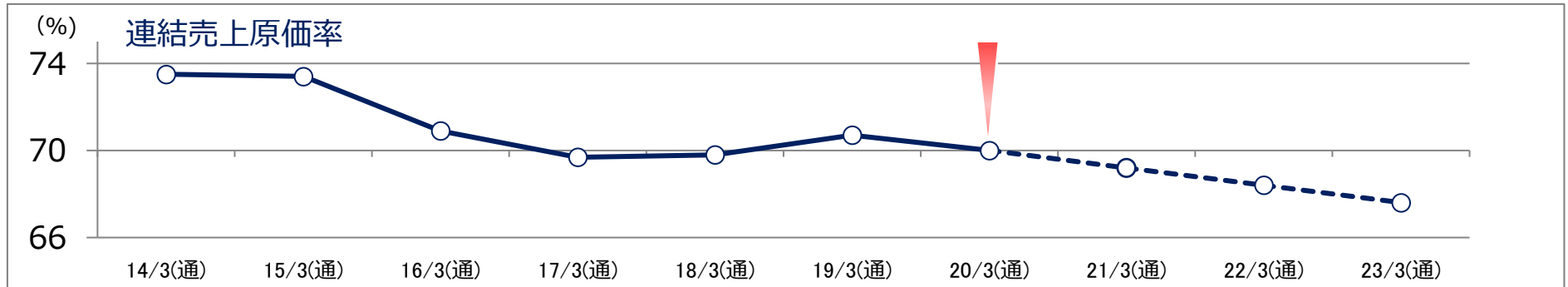
□ 特徴

- ・優れた耐摩耗性
- ・劣化しにくい

- 業界トップ（海外）に向けて量産中
- 業界上位へのスペックイン積極化

指針 3 : ものづくりの深化と進化

コア事業をグローバル成長させ、かつ、収益力を高めるための、
ものづくりの技術と体制の進化



2019/3期～2020/3期

2021/3期～

革新製法の開発

- 主要伝動ベルトの革新製法開発完了・稼働開始（1号ライン）

- 1号ラインの安定量産
- 自働化構想を盛り込んだ2号ラインの構築

IoTとAI

- 外観検査におけるAI導入
- 予防保全のデジタルシステム化に向けた仕組み作り

- ITツールを活用した製造管理業務の具体的な工数削減、保全作業の効率化

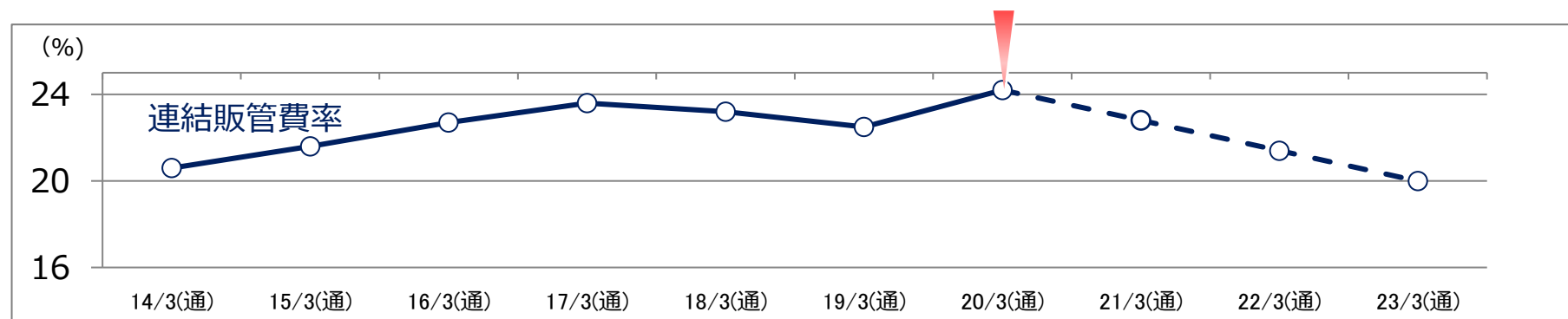
グローバル全体最適

- ベトナムでの一貫生産体制の稼働
- 最適生産構想に伴うライン統合・生産移管

- グループ利益最大化、BCP目的からの生産体制の高度化

指針 4 : 個人と組織の働き方改革

生産性を高め、創造性を高め、稼ぐ力を高める
 (時間縮減) (時間当たり粗利額増大)



2019/3期～2020/3期

2021/3期～

- 働き方改革部の設立
 - 約100業務のヒアリング、現状分析実施
- 業務のスリム化
- 業務プロセスの改善、意識改革
 - 業務改善提案の大幅な増加
 - 時間外勤務時間から総労働時間の縮減
- 目標の見える化と業務プロセス改善の継続
- IT化の推進・拡充
 - RPA (※1) 化、EUC (※2) の導入拡大
 (本社間接部門⇒全社展開)

(※1) RPA : Robotic Process Automation / ロボティック・プロセス・オートメーション。

(※2) EUC : End User Computing / エンドユーザコンピューティング。

“Breakthrough^s for the
future”

『未来への躍進』

IV. 参考資料

新事業の創出・事業ポートフォリオの転換

グローバルで『際立つ』サプライヤー

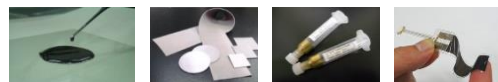
新事業と現事業の両輪で持続的に成長

Breakthrough :

中長期経営計画“Breakthroughs for the future”

(2013年度～2022年度)

新たな事業の基盤確立



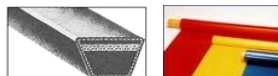
自動車・電子情報機械を中心に成長



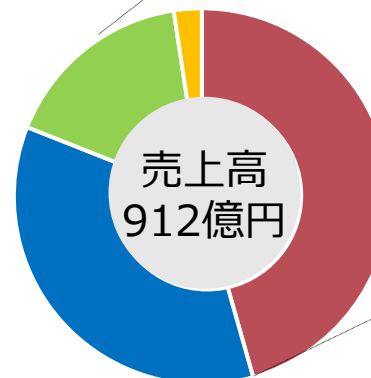
重化学産業・農業(機械)を中心に成長



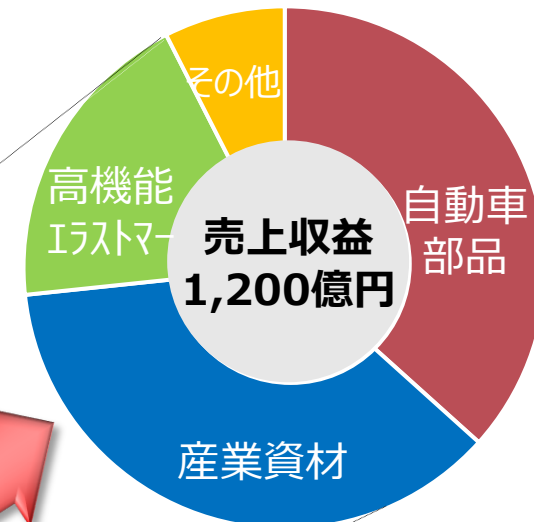
繊維・工業で成長



2017年度実績

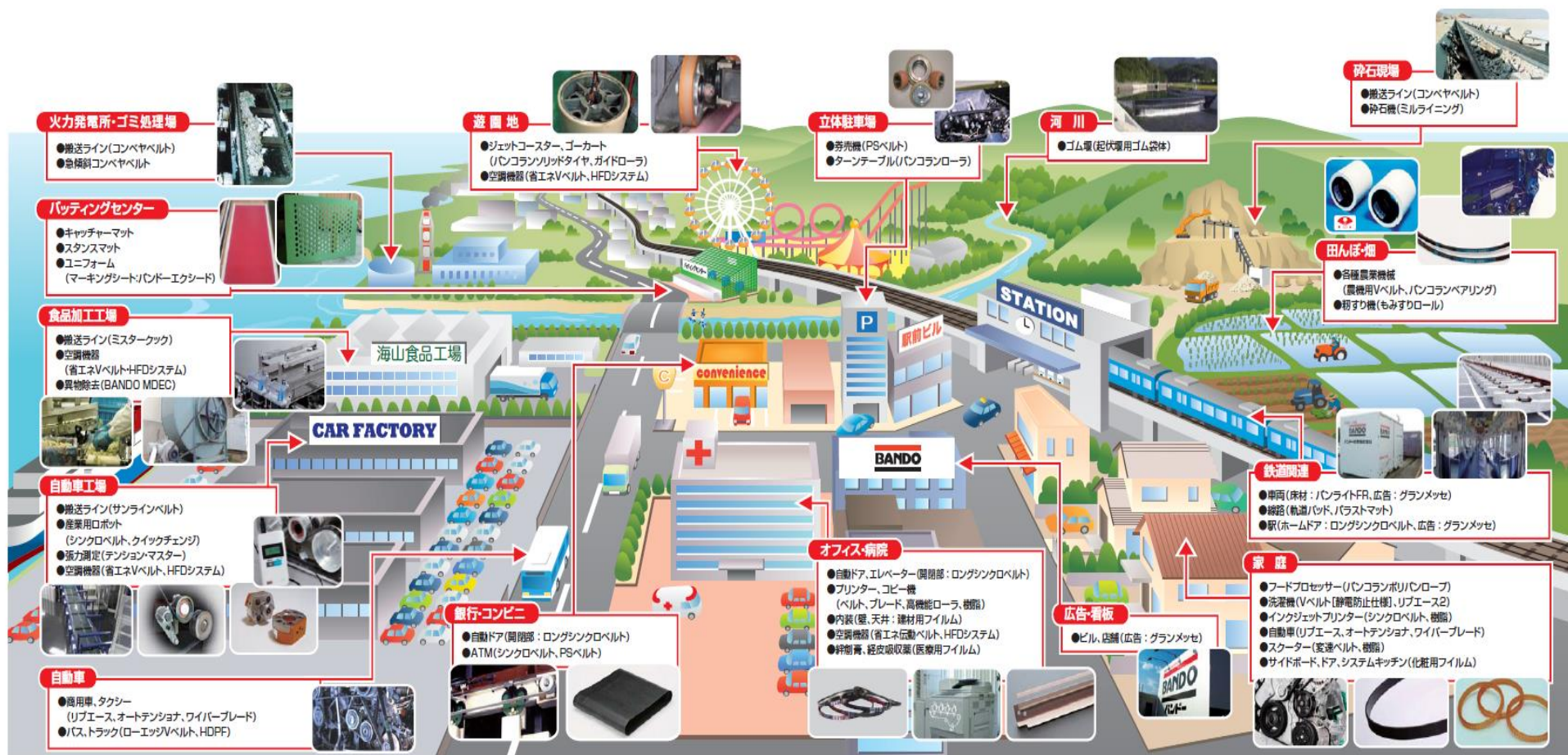


2022年度計画



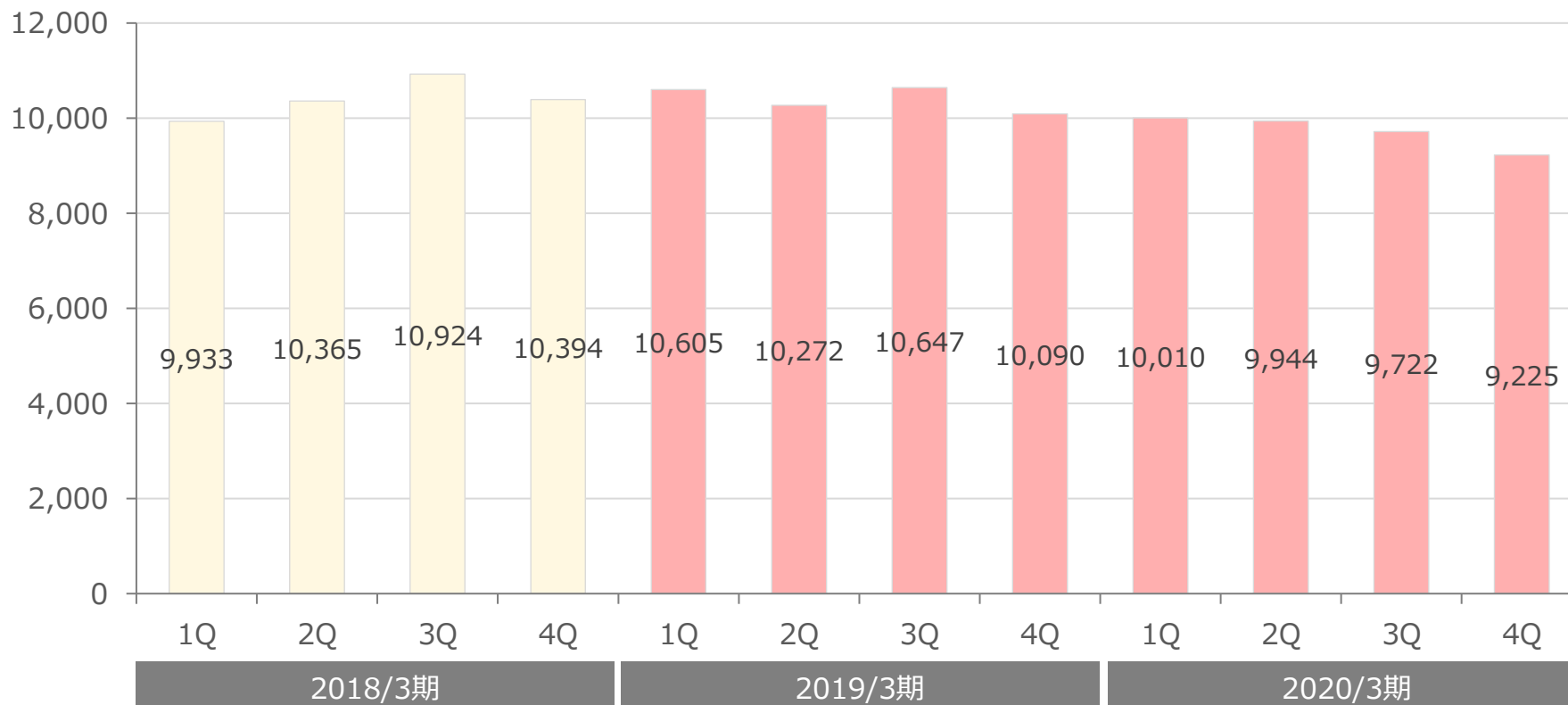
※2022年度計画は中長期経営計画発表時点のものです。最終年度目標の再策定は行っておりません。

暮らしのさまざまなシーンで活躍するバンダーの製品



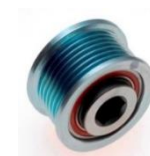
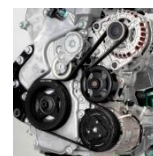
セグメント情報：自動車部品事業

売上収益（百万円）



主要製品

自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など



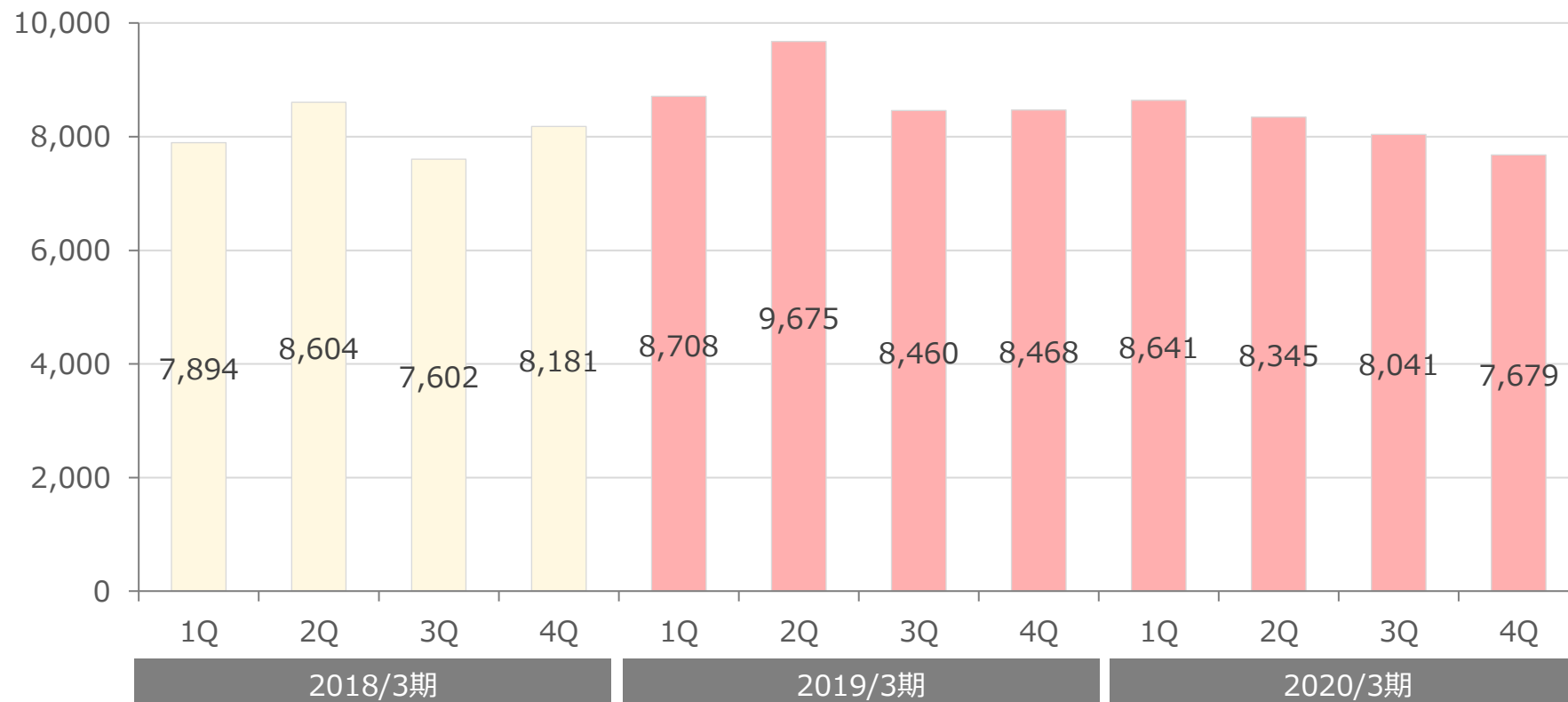
●自動車用補機駆動ベルト

●オートテンショナ

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。2018/3期は、IFRSで四半期情報を作成していないため、売上高（日本基準）を使用。

セグメント情報：産業資材事業

売上収益（百万円）



主要製品

一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど



●産業機械用駆動ベルト



●農機用駆動ベルト

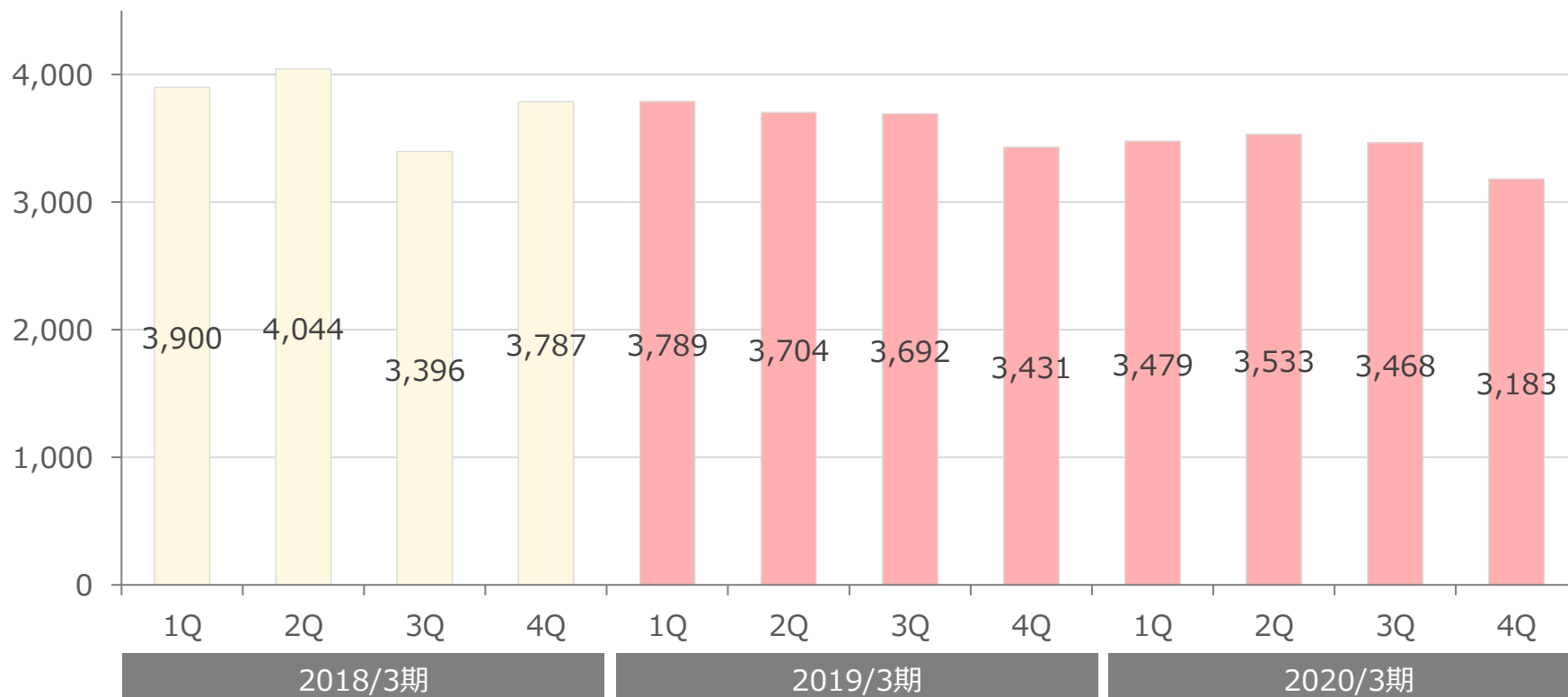


●コンベヤベルト

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。2018/3期は売上高（日本基準）を使用し、かつ、セグメント変更前。

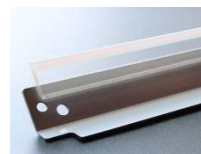
セグメント情報：高機能エラストマー事業

売上収益（百万円）



主要製品

クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど



●精密機能部品製品

●機能フィルム製品

（左：クリーニングブレード 右：高機能ローラ）

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。2018/3期は売上高（日本基準）を使用し、かつ、セグメント変更前。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があります。ことにご注意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。